

活動名	団体名	特定非営利活動法人 熱帯森林保護団体ひろしま
行動人となれ！「-ぼくらの未来はどうなる-」地球環境から知るこれから…	地域	広島県広島市
	代表者	代表 松岡 敏子
	支援金額	20 万円
活動概要		
<p>アマゾンの熱帯森林保護活動を通じて、環境教育として地域や身近な生活を見直し、次世代のリーダーとなる若者を育てる事業。3つの柱を目標とした。</p> <p>①さまざまな分野から有識者の講師を招き地球環境を学ぶ機会を設ける。</p> <p>②ワークショップを通じ環境問題を身近なものとし、参加者と交流することで、“未来のために今 私たちができること”について世代を超えてコミュニケーションをする。</p> <p>③実践や行動を通じて、未来に希望を持てることのできる健やかな人間像を育てる。</p> <p>◆実施時期</p> <p>第1回学習会 6月14日 広島市留学生会館 第2回学習会 7月14日 広島市市民交流プラザ 第3回学習会 三次市三和町 共生庵 強化合宿 10月6日～8日 広島市三滝少年自然の家 第4回学習会 2月9日 広島市留学生会館</p> <p>◆参加人数</p> <p>第1回 13人 第2回 15人 第3回 19人 第4回 28人 強化合宿 23人</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:98名</p>		



活動へ向けてのスタッフミーティング



三次共生庵での集合写真



白石絢子アマゾン現地報告会



合宿での火おこし体験

◆実施に伴う効果

4回の継続学習会は、新たな若者の参加者が回を追うごとに増えた。スタッフの若者にとってもファシリテーター役など主体的に関わるいい機会となった。アマゾン現地報告として、毎年アマゾンに赴く本部代表南研子・事務局長白石絢子の講演は、深刻になりつつあるアマゾンの現状と私たちの生活とは対極にある先住民の暮らしぶりを若者に伝えるよい機会となった。

2泊3日の強化合宿は、寝食を共にするという点でのスタッフ・参加者の交流には非常に役立った。座学を最低限とし、実際に体を動かすワークショップを中心に、盛りだくさんのプログラムは参加者から「楽しかった」「初めてアマゾンの先住民のことを知った。もっとアマゾンのこと知りたい」「自分の想いを大事にして、素直に行動していきたい」など好評だった。

◆苦勞した点

広報では苦勞した。メール・HP・Facebook・チラシ配布と少ないスタッフで頑張った。

2泊3日の合宿では、大学生はアルバイトや部活で忙しく、連休に予定を組んだのでなかなかスケジュールが合わず参加したくても参加できない若者が多数いた。

◆今後の課題・発展の方向性

1年を通じての年間計画を早めに立てて、スタッフ会議を重ね日程調整をして実行するようにしたい。

広報では、ホームページを活用しメーリングリストを充実させることと、他団体との繋がりを強化して連携しながら、青少年健全育成事業を図っていきたい。

◆活動を終えての感想・意見等

本年度助成をいただいたことで、今まで漠然と思い実施してきた若者とのコラボ企画を青少年健全育成事業として年間を通じて開くことができたことを感謝いたします。行動人となることは何も大上段に構えることではなく、私たちのようなNPO団体のイベントに参加することも第一歩である。

日本から一番遠いアマゾンという森を守る活動は見えにくい部分もあるが「楽しく・わかりやすく」をモットーに次世代へ繋げていける活動を今後もしていきたい。

この事業によりスタッフとしてこれからも関わりたいと申し出てくれた数人の若者たちと共に、次年度もこの事業は継続していきたいと考えています。